



深澤さんから「思いのままに描いた」という絵葉書をいただきました。本業は医師。群馬の風景や、草花、海外旅行先でのスケッチなど豊富なテーマが見る者を楽しませてくれます。裏に添えられた「思い」とともに一部をご紹介します。

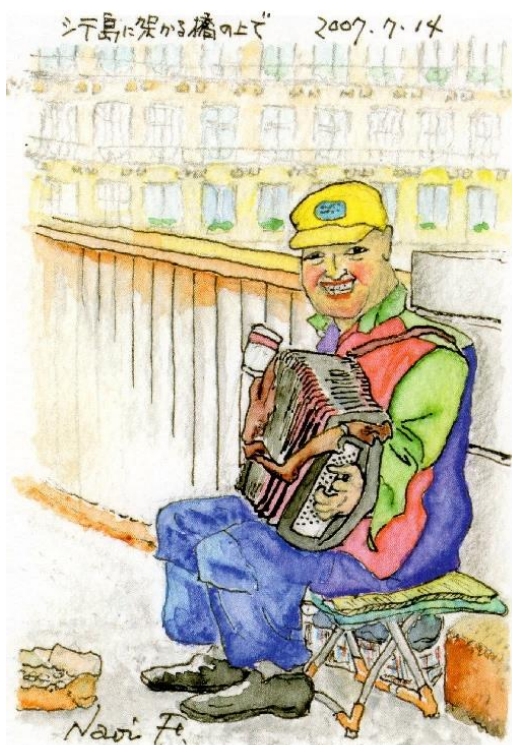


「羽衣ジャスミン」は、玄関先の柱に絡ませてある。早朝または帰宅時に強烈な芳香を放っていた。花芽も真っ白で回りのこんもりとした緑と良いコンビネーションを作っていた。白を浮き立たせるために、画用紙の白を生かし色を付けなかったことにした。



雪山に抱かれた河岸段丘の町 沼田

関越道を新潟に向かい、昭和ICを過ぎると、暫く切り通しが続き、左側に瞬間見通しが良くなり、谷川岳などの雪山に抱かれた沼田の町が、河岸段丘の上に横わたる。人々のくらしが時に厳しく、時に安らぎをもたらしてくれる自然の抱擁の中にあることを象徴するような景色。



セー又川周辺は静かで、アコーディオンの音色が美しく穏やかに流れ、旅してる、という実感。



パリで4日間だけ借りたアパートの窓から。ルーブル美術館」とオペラ座の間に位置し、パリ住民の生活を感じる。最上階の天井が斜めになっている部屋。エレベーターも上りは問題ないが、下りは、ボタンを押したらちょっと跳ねて刺激を与えないと動き出さない。近所のパン屋さんや八百屋さんから毎朝、焼き立てのパンと新鮮フルーツを買って朝食。生活している感を少しだけでも感じようという旅。